

平成 25 年 11 月 13 日

学生による飯舘村・映像記録アーカイブプロジェクト

プロジェクトの概要

このプロジェクトは、行政政策学類・佐々木ゼミの3・4年ゼミ生（19名）および大学院生（1名）が主体となり、全村避難を余儀なくされている飯舘村の村民の皆さんの現在の状況や考えなどを映像で記録した上で、作品に仕上げ、村のタブレット端末、インターネット、書籍、までい館（仮）などのルートを通じて、村内外に発信し、村の記録として残していくものです。このプロジェクトは、飯舘村の「新までいな村構想準備委員会」・第3分科会「記録と伝承・情報発信」で審議を行った結果、開始されることになったものです。現在、「飯舘村・映像記録アーカイブプロジェクト(仮)」という仮の名称をつけていますが、プロジェクトの正式名称は今後検討する予定です。

プロジェクトのねらい

全村避難によって目に見えにくくなった飯舘村の村民の皆さんが置かれている状況やその考えなどを村内外に発信し、理解を得ること、バラバラになってしまった村民の皆さんのつながりを維持すること、村民の皆さんの置かれている様々な状況および意見や要望などを映像に記録し、それらを互いに共有して頂くことで、今後の村づくりに役立てること、長期的に避難を余儀なくされている村民の皆さんの様子を映像で残し、「村の記録」として後世に伝えていくこと（詳細は、お渡ししたチラシの裏面にある「趣意書」をお読みください）。

プロジェクトの推進体制

このプロジェクトは、飯舘村、スマートコミュニケーションズ（毎日新聞社グループ）、行政政策学類・佐々木ゼミの3者が協力して推進するものです。

3者の役割分担としては、佐々木ゼミが制作集団、スマートコミュニケーションズはプロデューサーです。飯舘村はこのプロジェクトの委託者であるとともに、プロジェクトの推進に協力します。佐々木ゼミは、実際の取材、撮影、編集などを行い、完成品を作ります。完成した作品の「発信」に関しては、村とスマートコミュニケーションズが行います。また、佐々木ゼミの制作活動を含む、全体の仕事に対して、村とスマートコミュニケーションズも責任を負うことになっています。

これまでの活動と今後の予定

今年10月に飯舘村の広報にチラシを入れることで活動への協力を呼びかけました。また、松川第一・第二仮設、吉倉住宅の自治会に対する協力の依頼も行いました。実際の活動としては、10月末にパルセいいざかで行われた「いいたて村文化祭」の取材を行いました。2013年11月後半からは、松川第一・第二仮設、吉倉住宅などを中心にして、本格的な取材と撮影を開始する予定です。また、村民の皆さんが集団で避難されている場所だけでなく、借り上げ住宅などに対しても取材を行い、村民の皆さんの様々な状況や意見などを記録に残していく予定です。

これまでの取材の様子・参加した学生の感想

(お問い合わせ先)

行政政策学類 佐々木

電話：024-548-8261